

令和5年度 坂井高等学校 学校関係者評価書

(問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。 ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。 ・スクールポリシーを踏まえた評価となっているか。 ・その他
(意見を伺った方) PTA会長 同窓会副会長(2名) 合計3名
(意見欄)
○学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の授業満足度が年々良くなっていること、生徒が意欲的に取り組み始めていることが良い。 ・教職員の方々が日々努力されて授業されていることがわかった。 ・わかりやすい授業の改善にさらなる努力をお願いしたい。 ・タブレット端末の活用については、他校とも情報交換して改善してほしい。
○生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶等がよくできている点を評価する。 ・ルール、マナー、礼儀正しい生活がとても良くなっている。良い校風ができることを期待する。 ・「校内秩序や風紀指導の改善」に教職員6割、保護者3割が重要視している。今後、多様性の理解度やハラスメント(上級生から下級生など)で注意すべき点を指導に盛り込んでほしい。
○進路指導 <ul style="list-style-type: none"> ・1年次から進路について明確な目標を持てるように指導されていることがよくわかる。 ・進路指導全体の取り組みはよい。大学進学の合格者についても評価する。 ・提供している進路情報についても、生徒、保護者とも9割以上が満足している結果で非常に良い。 ・今の取り組みを継続していただきたい。さらなる向上を期待する。
○安全教育 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症対策はGoogleフォームを利用した健康観察や欠席連絡、感染症防止の情報収集など効率化が図られている。 ・洪水の避難訓練など災害防止対策にも力を入れていることは非常に良い。 ・時代の変化に合わせて、危機対策マニュアルの見直しを検討してほしい。 ・今の世の中、他人に危害を加える者が増えている。教育の立場から生徒に命の大切さを教える指導をしてほしい。
○専門教科指導 <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の生徒とも、意欲的に専門教科に取り組んでいることがよくわかる。 ・学年が進むにしたがって資格や検定試験の難度が上がると思うが、一層の指導の充実を期待する。 ・資格取得はその意義について生徒とのコミュニケーションを図りながら、学生のときにとれるものはできるだけ取得するような指導をお願いしたい。
○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・多様性や18歳成年など、時代の変化が激しい状況で、今後の生徒の支援方法の改善に取り組んでいることは非常に良い。 ・生徒の多様性が顕著になり、大変だとは思いますが一層の努力を期待する。 ・生徒は教員や生徒同士の時間が一番多いので、今の取り組みを継続してほしい。

○部活動指導

- ・ 生徒の約8割が充実して部活動に取り組めたと回答しており、運動部、文化部ともに素晴らしい。
- ・ 結果を残していることは、運用面が非常に良い表れと評価できる。
- ・ 指導の教職員は大変だと思うが、部活動で得た体力とチームワークは後の人生に大変役立つと思うので引き続き指導をお願いしたい。
- ・ 部活動については教職員の負担軽減のため、学校外の指導者の導入を一層進めるべきである。
- ・ 休養日の設定や顧問の教職員の負担軽減等、様々な課題はあるががんばってほしい。

○魅力発信

- ・ 新聞の特集記事など、教育活動が多くの方に見られたことは非常によかった。
- ・ 随分魅力のある学校になってきていると思う。学校の特色を生かした地元へ貢献できる人材育成をお願いしたい。
- ・ 県内専門高校の中でも、高度な設備を有する専門設備の魅力なども近隣中学校に発信してほしい。
- ・ 中学校での学校説明会等の機会を利用して、さらに充実した情報発信を期待する。

○全体（総括）

- ・ 教職員の方々の働き方改革やデジタル教育の推進、さらには多様性の理解や18歳成年といった変化への対応を求められる中、様々な工夫により対応いただいていることが良く分かった。
- ・ ここ数年の間に本当に良い総合産業高校になってきたように思う。県内最大の総合産業高校として、地域に根付き、みんなから愛される坂井高校になっていくことを願う。
- ・ 年々、進学希望者が増加していることから、国公立大学をはじめ進学希望者の進路実現に向けての指導体制の充実をお願いしたい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・ 令和3～5年度のマイスター・ハイスクール事業の成果を踏まえ、地域のキャリア教育の拠点校として、企業や行政機関、および小中学校、大学等との連携を図る「坂井高校コンソーシアム」を設立して、地元産業界に貢献できる人材の育成に努める。
- ・ 4学科8コースを有する県内最大の総合産業高校としての強みを生かし、学科連携や、地域企業等との協働など「探究的課題研究」を軸とした教育活動を推進する。
- ・ 生徒が主体的に学ぶ姿勢を育成できるように、タブレット端末等を効果的に活用して生徒が表現する学習活動を取り入れた授業改善を行い、授業満足度の向上を図る。
- ・ 一人一人の生徒の特性を踏まえた指導、支援を行い、外部専門機関等とも連携しながら、複数の教員がチームで対応して個々の生徒の成長を導く。
- ・ 引き続き、生徒が一人で不安・悩みを抱える事が無いようSOSの出し方教育を実施するとともに、校内の教育相談体制の充実を図る。また、SNS上のトラブルの未然防止に向けて、効果的な情報モラル教育を実施できるよう関係機関との連携を深める。
- ・ 必要に応じて、部活動外部指導者等の外部人材を積極的に活用して、教職員の負担軽減を図る。